

福祉サービス第三者評価基準ガイドラインにおける各評価項目の判断基準等（平成27年4月1日改定）

自己評価結果票（障害者・児施設）

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a) b・c
<p>【特記事項】</p> <p>ご家族へは通所案内（支援計画）の配布，広報誌やホームページ等で周知している。職員に対しては常盤会マインドを配布し，朝礼で理念・基本方針の唱和を行っている。また，理念・基本方針に関する研修を実施し，職員への周知を図った。</p>	

Ⅰ-2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果
① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a)・b・c
<p>【特記事項】</p> <p>地域の福祉計画，自立支援協議会（子ども部会）に出会，理事長より福祉の動向について管理職会議等で報告があり，情報把握に努めている。中長期計画を作成し，月次報告を基に経営状況を分析している。</p>	
②経営課題を明確にし，具体的な取り組みを進めている。	(a)・b・c
<p>【特記事項】</p> <p>ご家族へ質の向上アンケートを配布し，意見を収集している。職員からの意見も徴収し，課題検討会議等にて改善に向け検討している。</p>	

Ⅰ-3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果
①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・(b)・c
<p>【特記事項】</p> <p>中・長期計画の事業計画を策定している。</p>	
②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・(b)・c
<p>【特記事項】</p> <p>数値目標を踏まえ，単年度計画を策定している。</p>	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	自己評価結果
①事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ，職員が理解している。	(a) b・c
<p>【特記事項】</p> <p>職員が参画しマニュアルに基づいて作成，見直しが行われている。職員会議で周知を図っている。</p>	

②事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 契約時での説明や広報誌や支援計画を配布し、周知・理解を促している。	

Ⅰ-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果
①福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 家族と職員へサービス向上に関するアンケートを実施し、結果に基づき取り組みを行っている。また、第三者評価の自己評価の実施や放課後等デイサービスのガイドラインに基づくアンケートを実施し、ホームページに公開している。	
②評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 第三者評価自己評価を実施し課題を明確にし、改善に向け取り組んでいる。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	自己評価結果
①管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 広報誌や職務分掌に掲載するとともに、マニュアルの作成を行っている。研修を取り入れ、職員への理解を図っている。	
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 コンプライアンスチェックリストの活用を行っている。また、遵守すべき法令等の研修を実施。	
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	自己評価結果
①福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 事業計画・行事について面談やアンケートでの聞き取りを行い、課題と改善に向けた取り組みを行っている。	
②経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 管理職会議等での月次報告等で分析を行っている。課題検討会議等を利用し、業務改善の取り組みを行っている。また、育児休暇やリフレッシュ休暇等、働きやすい環境の整備を推進している。	

II-2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画，人事管理の体制が整備されている。	自己評価結果
①必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し，取組が実施されている。	a・ (b) ・c
【特記事項】 中長期計画や数値目標を立て，取り組んでいる。	
②総合的な人事管理が行われている。	(a) ・b・c
【特記事項】 人事基準を整備してあり，人事考課や異動希望調査を実施している。	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	自己評価結果
①職員の就業状況や意向を把握し，働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	(a) ・b・c
【特記事項】 福利厚生を整備や有給休暇の取得の推進，悩みの相談窓口を設置・掲示している。また，異動希望調査を実施している。	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	自己評価結果
①職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a) ・b・c
【特記事項】 一人ひとりの目標への取り組みについて，進捗状況や達成度について確認を行っている。	
②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され，教育・研修が実施されている。	(a) ・b・c
【特記事項】 基本方針や計画に基づいて実施している。また，個人の研修記録を作成している。	
③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a) ・b・c
【特記事項】 一人ひとりへ研修に関するアンケートを実施。計画表の作成と評価分析の実施。	
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	自己評価結果
①実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し，積極的な取組をしている。	(a) ・b・c
【特記事項】 実習生受け入れマニュアルを整備し，学校側との連絡会に参加している。定期的に海外の研修生を受け入れている。	

II-3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己評価結果
①運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	(a) ・b・c
【特記事項】 苦情対応についての報告を広報誌に掲載し，家族や関係機関に配布している。また，施設内にも掲示し，ホームページでも情報を公開している。	

②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	(a)・b・c
【特記事項】 経理規程を整備し、外部の公認会計士による巡回指導を受けている。また、内部監査を実施している。	

II-4 地域との交流，地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	自己評価結果
①利用者との交流を広げるための取組を行っている。	(a)・b・c
【特記事項】 地域の発達相談会や親子教室等へ職員を派遣したり、地域住民向けの研修会や交流会を実施したりしている。地域の小学校との交流も実施。また、地域貢献委員会を設置している。	
②ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	(a)・b・c
【特記事項】 ボランティア受け入れマニュアルに明示している。	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	自己評価結果
① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	(a)・b・c
【特記事項】 関係機関、社会資源リストを作成し、掲示している。関係機関（自立支援協議会、子ども総合療育センター、各保険センター、幼稚園、保育園、学校等）との連携を図っている。また、地域の支援ネットワークを構築し、研修会や情報共有を行っている。	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	自己評価結果
①福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	(a)・b・c
【特記事項】 地域住民向けの研修会、地域の子育て世代への育児相談を実施。また、市と災害協定を締結し、災害時の受け入れ体制を整えている。	
②地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	(a)・b・c
【特記事項】 保健センターと連携し、松元地区子どもの発達支援に関する連絡会を立ち上げた。保健センター主催の親子教室、発達相談会、地域の育児サークル等への指導者派遣を行っている。	

評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	自己評価結果
① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a)・b・c
【特記事項】 理念や基本方針に基本的人権の尊重・権利擁護等明示している。常盤会マインドや支援計画に記載し、利用者・職員へ配布している。	

②利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 マニュアルの整備を行い、研修を実施している。また、人権擁護ハンドブックの読み合わせ、人権侵害防止に関するチェックリストの活用を行っている。	
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	自己評価結果
① 利用者希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 市役所にパンフレットを配置している。また、見学者に対し一覧表の提示等、情報提供を行っている。	
②福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 契約書、重要事項説明書でサービス内容や利用料金を説明。	
③福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 転居や就学、幼稚園・保育園との並行利用の開始等の際に「情報提供シート」「移行支援シート」を作成し、家族の要望も記載している。	
(3) 利用者満足の向上に努めている。	自己評価結果
①利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 サービスの向上のためのアンケートを実施している。	
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	自己評価結果
①苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 重要事項説明書で苦情解決の仕組みを説明し、掲示している。苦情を申し出しやすいよう、アンケートの実施や意見箱の設置を行っている。苦情内容や解決結果等は広報誌で周知している。	
②利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 ・サービス向上のためのアンケートの実施や意見箱を設置し、アンケートの集計後は家族へ報告を行っている。また、職員一覧を掲示し、誰にでも相談しやすいよう取り組んでいる。	
③利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 意見対応マニュアルを整備し、相談や意見に対して対応している。	

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	自己評価結果
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ b・c
【特記事項】 安全管理についてマニュアルを整備し、研修を行っている。ヒヤリハット集や事故報告書の回覧し、事故防止委員会で検討・改善を行っている。	
②感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ b・c
【特記事項】 職務分掌での担当者の明記を行っている。また、マニュアルを整備し、定期的な見直しや研修を行っている。	
③災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にやっている。	Ⓐ b・c
【特記事項】 非常災害計画を整備している。備蓄リストの作成を行っている。また、避難訓練、合同避難訓練、不審者対策訓練を行っている。	

III-2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	自己評価結果
① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	Ⓐ b・c
【特記事項】 各支援マニュアルを整備し、研修を実施し、内容の確認・周知を行っている。	
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ b・c
【特記事項】 マニュアル見直し基準を整備し、定期的に見直しを行っている。	
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	自己評価結果
① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ b・c
【特記事項】 個別支援計画マニュアルに沿って策定している。多職種と協働での支援や困難ケースの検討を行っている。	
② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ b・c
【特記事項】 個別支援計画マニュアルに沿って評価・見直しを行っている。	

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	自己評価結果
① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 支援日誌記入マニュアルを整備している。ネットワークシステムや回覧を使用し、職員間で共有している。	
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 職務分掌に管理者を明示し、文書保存期間マニュアルに沿って管理を行っている。個人情報の取り扱いについての同意書について、保護者に説明を行っている。	

評価対象Ⅳ

A - 1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重	自己評価結果
① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 コミュニケーション能力に応じ、写真・絵・ジェスチャーを用いて意思疎通を図っている。また、専門職（作業療法士・臨床心理士・言語聴覚士等）と職員が連携して、特性に応じたコミュニケーションの工夫を行っている。	
② 利用者の主体的な活動を尊重している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 興味のある活動、好きな活動のアセスメントに基づき、発達の状況に応じた活動を行っている。	
③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 ADLの向上をめざし、発達段階に応じた社会生活に必要な支援を行っている。また、部屋や空間の構造化や絵や文字のカードを使ったコミュニケーション等の支援を行っている。また、会議等で、職員の対応や施設の設備について検討している。	
④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 近隣の社会資源を活用し、生活体験、社会体験を実施したり、日常生活能力に応じ、プログラムを作成したりしている。	

A - 2 日常生活支援

(1) 食事	自己評価結果
① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 アセスメントを実施し、個々に応じて食事形態・支援方法・アレルギー等に対応している。食事支援マニュアルを整備している。	

②食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 嗜好調査の実施や食に関する検討会を開催し、献立に反映させている。季節の食材の使用や行事食を提供するとともに、献立表へ記載している。また、食事中は子どもの様子を確認しながら、ペースに合わせ支援を行っている。	
③喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 テーブルクロスを活用やオルゴール曲を流す等、環境面への配慮をしている。子どものペースで食事が摂れるよう、食事時間にゆとりを持たせている。	
(2)入浴	自己評価結果
①入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
②入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
③浴室・脱衣所等の環境は適切である。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
(3)排泄	自己評価結果
①排泄介助は快適に行われている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 排泄支援マニュアルを整備。トレーニング中の子どもへは個人記録を作成し、排泄のタイミング等把握している。排便の有無等と状態を連絡帳に記入し、保護者へ伝えている。	
②トイレは清潔で快適である。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 毎日の清掃と24時間換気を行っている。また、温便座を使用している。	
(4)衣服	自己評価結果
①利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
②衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 着替えマニュアル、破損・汚れが生じたときの対応を整備している。また、必要に応じて着替えを行っている。	

(5) 理容・美容	自己評価結果
①利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
②理髪店や美容院の利用について配慮している。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
(6) 睡眠	自己評価結果
①安眠できるように配慮している。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
(7) 健康管理	自己評価結果
①日常の健康管理は適切である。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 健康管理マニュアルを整備。健康診断と歯科検診を行っている。	
②必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 応急処置支援マニュアルを整備し、緊急時には、協力医療機関にて対応している。	
③内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 与薬マニュアル、誤与薬対応マニュアルを整備し、内服薬や外用薬の取り扱いを確実にしている。	
(8) 余暇・レクリエーション	自己評価結果
①余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	Ⓐ・b・c
【特記事項】 アセスメント時や質の向上アンケートで、好きな活動の把握や活動を行っている。	
(9) 外出、外泊	自己評価結果
①外出は利用者の希望に応じて行われている。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
②外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
(10) 所持金・預かり金の管理等	自己評価結果
①預かり金について、適切な管理体制が作られている。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	

②新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	
③嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	a・b・c
【特記事項】 ・該当なし	